



日本共産党市議会議員



中町さとしです



市議会ホームページを
ご覧ください!



市政報告

小学校の調理場を存続し、 早急に中学校給食の実現を!

中学生は1番多く栄養が必要な時期です。中学校給食の実現までに7年もかかるのは問題です。私は、3カ所の市有地に小規模な調理場をつくることで、小学校の調理場も存続し、八王子市のように1~2年で中学校給食を実現できるのではないかと、質問しました。



市側は、「中学校給食は一日でも早くできるよう精力的に進めている。共同調理場1カ所で運営する方が、効率的で持続可能です。」と答え、自校方式の給食を廃止する態度を変えませんでした。



聞こえの「バリアフリー」を

70歳以上の方の半数は、加齢性難聴といわれています。聞こえづらくなると社会参加をしなくなり引きこもってしまったり、また、難聴は認知症の危険因子ともいわれています。「聞こえづらくなったが、相談先がわからない」「補聴器が高額で手が出ない」などの声が寄せられています。

日本共産党は、市議会で補聴器の補助制度検討や個々の聞こえの問題に適正な補聴器を診断する補聴器相談医について、市民に周知することなどを質問しました。



市側は、補聴器購入補助については、適切な補聴器利用の環境整備と合わせ慎重に対応していく。補聴器相談医の周知については検討していきたいと答弁しました。

小中学校体育館への エアコン設置へ!

6月の文教委員会に、「27の小中学校体育館に空調設備を来年夏までに設置する」と市からの報告がありました。

日本共産党は、12月の議会で「東京都の補助制度を活用して設置すべき」と質問してきました。

また、3月の文教委員会では、党市議が「できる限り短期間に設置を」と迫り、教育部長は「事業費を見極めた上で総合的に判断していく」と答弁していました。



都市計画道路



立3・3・30号線について

3月に行われた環境影響評価の説明会に500名を超える市民が参加し、この道路計画に住民は納得するどころか、不安や疑問の声が相次ぎました。

また、この道路計画に反対する市民の会の方々は、700名を超える反対署名と質問状を都知事宛に提出しました。

58年前、阿部行蔵市長のときに、市民の反対の声を聞いて、この道路計画を凍結させた経験があります。市民が今まで積み重ねてきた人との繋がりや、ねぶた祭りなどを守るために、首長として、この道路計画は中止ということを都にしっかり要求すべきだと私は質問しました。

市側は、条例手続きとして提出された意見書に対し見解を述べる立場にない。本市だけではない欠くことのできない骨格幹線道路であると考えており、東京都に対して引き続き事業について要請し連携して進めるものと考えていると答弁しました。

私は、引き続き、住民の生活と健康を守るために引き続きがんばります。

環境評価の説明会▶

